

ボードゲーム好きにおくるチョイ読みペーパー

2024.01
vol.19

TAKE FREE

メビテン!

mebiten.jp

Essen Spiel 特集

海外ファンも大注目! **From JAPAN!**

プラスを探してみた

ゲーム・テーブルでのプレイはいかが?

Essen Spiel 2023 みんなの旅の費用

H2Ö - Spielezentrum カルカソヌ世界大会2023会場
カルカソヌ世界大会

ふらりカフェ日和

まつながのふりかえりコラム

海外ファンも
大注目!

From JAPAN!

コロナ禍という世界規模の苦難があり、運営団体や正式名称も含め、「変化」を感じるEssen Spielですが、いちゲーム好きの私にとっては、変わらずに大きな刺激を受けられる場所でした。

私にとっては「刺激を受ける場所」——しかし、今年のEssen Spielには、世界のゲームファンに「刺激を与える」側になった人たちも数多くいました。この記事では、そんな彼らの活躍を取り上げたいと思います。

まず、最初にご紹介するのはオインクゲームズ、itten、saashi & saashiによる合同ブース。海外でも抜群の人気と知名度を誇るオインクゲームズ、凝った造形のコンポーネントを用いたタイトルで海外からも注目を集め続けるitten、近年、注目度が右肩上がりのsaashi & saashiによる合同ブースとあって、そのスペースの広さはもちろんのこと、ディスプレイの仕方や飾り付け一つとっても、海外の大手出版社のブースに引けを取らないものになっていたと言っても過言ではないでしょう。もちろん、世界中のゲームファンがひっきりなしに訪れ、会期中は常に賑わっていました。常に、海外での展開を視野に入れ活動してきた彼らだけに、「合同出展」で得たものをどう活かしてくれるのか、とても楽しみなところですよ。

続いて、Engamesとコロコロ堂による、やはりこちらも合同ブース。日本で

はそれぞれ、海外ゲームのローカライズや、ゲームカフェとして人気ですが、最近は、日本人デザイナーによる自社タイトルの出版にも注力しており、今回は、それを携えての「挑戦」といった雰囲気。

ブースも小さく、コロコロ堂の岩井さんが自ら「大変でした」と振り返る通り、不慣れな通関手続きや急な体調不良というアクシデントもあった中での出展となったようですが、海外の目の肥えたファンからの注目度はかなり高かったようで、持ち込みタイトルはいずれも完売。中でもEngames「ノコスダイス」は、初日の開場直後から行列だったとのこと。

私も、海外の出版社の担当者から「ノコスダイスって面白いらしいね」と話を振られることも一度や二度でなく、驚かされるとともに、同じ日本人として誇らしく思うのでした。



もちろん、常に日本人デザイナーの作品と海外の橋渡しを行ってきたヤポンブランドや、日本の老舗や大手出版社のブースでも常に多くのファンが足を止めていたのは言うまでもありません。

刺激を受ける場から刺激を与える場へ——日本人にとって、Essen Spielという場は大きく変わろうとしているのかもしれない。



Essen Spielで近年よく見るようになったゲームテーブルの販売・紹介ブース。単純にゲームテーブルやそれに付随したアイテムを、展示販売しているブースもあれば、試遊ブースにゲームテーブルを配置して、

そこにネットショップのURLを添付しているブースなんても。また、並んでいるテーブルも、ダイニングテーブルやローテーブル、あるいは立って遊ぶ用の高さの物。テーブルの縁からかなり沈んだ位置に、プレイマットが敷かれている物や、テーブル縁にライトがついており、プレイマットが照らされている物。

プラスも
探してみた

ゲーム・テーブルでの プレイはいかが?

ドリンクホルダーはどのテーブルにもついていましたが、テーブル縁がトークントレイになっている物など、遊ぶゲームや状況にあった、様々なテーブルが色々なメーカーから紹介されていました。確かにテーブルの上でゲームをすると、カードやチップなどが取りづらいたくことが多々。

プレイマットを敷けば済む話ではありますが、それ以上にボードゲームを遊んだ時の、雰囲気UPにはかなり魅力的。ただ、どれもかなりのお値段(;´Д`;)。そしてかなりのスペース(;´Д`)。やはりヨーロッパの住宅は広いのでしょうか。住環境とお財布事情が許してくれるのであれば、購入も検討してみてもいいかもしれません。





以前メビデン!vol.7で「Essen Spiel 2019みんなの旅の費用」を特集しました。2019年のSpielは、4日間の海外渡航が困難になり、さらにロシアのウクライナ侵攻により飛行機の飛行ルートが変化しました。為替も大きく2019年の記録に届く勢いとなりました。今回改めてドイツEssen Spielへの旅事情を皆さんのお財布から覗き皆様の好意的なご協力に感謝です。すべて一人分の費用です。

開催期間来場者が20万人を超え過去最高の人出を記録した年でした。その後COVID-19の世界的大流行で大きく変動しています。そんな状況下で迎えたEssen Spiel 2023は4日間で193,000人の来場があったそうです。見せてもらいました。

レート: 1€ = 158円

名前	Spiel行きを決めた時期	航空券・ホテルを手配した時期	居住地/ 日本出発空港	利用航空会社/ 航空運賃 (含むサーチャージ等)	経由地 到着空港	飛行時間(h)/ 乗り換え時間(h)	宿泊エリア/ 泊日数/ 宿泊代	一人旅or グループ旅	Spiel何回目?/ 海外旅行何回目?	① 交通費 滞在費 ② 食事代 ③ その他	日本での費用: 出発空港までの 交通費+宿泊費
メビウスママ	1年前	4月	東京都/ 成田空港	日本航空/ 653,000円	ダイレクト便 フランクフルト	14h30m	Alfred-Krupp-Schule/ 6泊/ 40,000円	グループ (家族)	16回目/ たくさん	① 100ユーロ ② 350ユーロ ③ 300ユーロ	交通費1,800円 宿泊費3,900円
コロコロ堂 岩井 korokorodou.com	1年前	8月	東京都/ 成田空港	エミレーツ航空/ 約180,000円	ドバイ経由 デュッセルドルフ	18h/ 4h	Bocholder Str./ 5泊/ 50,000円	グループ	2回目/ たくさん	① 100ユーロ ② 100ユーロ ③ 200ユーロ	交通費数千円
小野卓也 tgjw.info/weblog	6月	6月	山形県/ 羽田空港	トルコ航空/ 234,000円	イスタンブール経由 フランクフルト	16h+4h(遅延)/ 3h	U11沿線/ 8泊/ 62,000円	グループ	17回目/ たくさん	① 100ユーロ ② 150ユーロ ③ 250ユーロ	交通費40,000円
サニバたいら ✉@sanibataira	1年前	4月	長崎県/ 成田空港	エティハド航空/ 約160,000円	アブダビ経由 デュッセルドルフ	19h/ 3h	Bochum/ 7泊/ 約50,000円	グループ	2回目/ 2回目	① 50ユーロ ② 200ユーロ ③ 400ユーロ	交通費30,000円
Engames engames-s.com	1年前	8月	富山県/ 成田空港	スイス航空と ルフトハンザ航空/ 約312,000円	チューリッヒ経由 デュッセルドルフ	16h/ 2h	Essen中央駅/ 7泊/ 約250,000円	グループ (夫婦)	4回目/ たくさん	① 100ユーロ ② 200ユーロ ③ 無し	交通費30,000円
秋山真琴 ✉@unjyoukairou	5月	5月	神奈川県/ 羽田空港	British Airways/ 300,000円	ロンドン (飛行機でドイツ入国)	ロンドンまで 15h	Essen中央駅/ 6泊/ 1,100ユーロ	グループ (夫婦)	5回目/ たくさん	① 10,000円 ② 30,000円 ③ 30,000円	交通費1,700円
松元泰右 ✉@DanceOcn	3月	9月	東京都/ 成田空港	カタール航空/ 220,000円	ドーハ経由 デュッセルドルフ	16h/ 2h	デュッセルドルフ/ 5泊/ 27,000円	ひとり	1回目/ 1回目	① 12,000円 ② 10,000円 ③ 50,000円	交通費3,500円

Essen Spielへの参加の目的は趣味であったり仕事であったり様々です。もちろんお金の使い方も様々です。メッセ会場への足の便と宿泊費のバランス、それぞれの方々の工夫と楽しみ方が窺えたのではないのでしょうか？刻々と世情は変化しています。ボードゲームがお好きなら、一度は世界最大のボードゲームの祭典Essen Spiel に行ってみませんか？



H2Ö - Spielezentrum カルカソヌ世界大会2023会場

カルカソヌ世界大会は、ドイツ・エッセンで開催されるエッセンSpielの会場内で毎年開催されていました。しかし2023年の大会は、エッセンSpielの会場を飛び出し、エッセン市の北東に位置するヘルネ市で開催となりました。エッセンSpielの会場から貸し切りバスで約40分の場所です。その会場となったH2ÖとSpielezentrum (シェビレツェント) を紹介しましょう。

H2Öは、ヘルネ市ミッテ地区の子ども、青少年、ファミリー、ゲーム愛好家のための地区センターです。様々なコミュニティの課外活動の拠点であり、情報を集約しています。



でもが利用できる場所です。館内を利用できるだけでなく、中庭には子ども向けの遊具もあり、手入れされた芝生で走り回ることもできます。様々な年齢やカテゴリーでイベントやワークショップが企画運営されています。その中の1つにSpielezentrumがあります。



では、Spielezentrumとは何でしょう。ボードゲームの情報拠点でありゲームライブラリー (ゲーム図書館) の管理運営をしているヘルネ市の施設です。黄色いコマのマーク (愛称はベッペル) がキャラクターアイコンです。エッセンSpielに行ったことのある方は赤いバスとこのベッペルを目にしたことがあるのではないのでしょうか。17,000タイトルに及ぶゲームライブラリーの管理・運営の他に、6歳から10歳の子ども向けテーマに沿ったプログラムや、夏休みには3週間に及ぶプログラム (朝食付きの宿泊行事もある) を開催しています。第二日曜日はゲームサンデーを開催し、ゲームを楽しむだけでなくコーヒーとケーキを低額で提供し利用者の憩いの場となっています。様々なゲームクラブや協会の拠点でもあり、それらの情報管理も行い、曜日別に年齢カテゴリーを設け様々な人たちがゲームを楽しめる工夫がされています。1985年以降ボードゲームやカードゲームのトーナメントを定期的に開催しています。その礎の先にドイツ・カタン選手権 (予選トーナメント)、ドイツ・カルカソヌ選手権があり、さらには「カルカソヌ世界大会」の運営も行っています。



所蔵している17000にも及ぶボードゲームは、このセンターで遊ぶこともできますが、有料会員登録を行うと貸し出しサービスも受けることができます。貸出期間は14日間、大人は2作品、子どもは1作品借りることができます。

(会員登録費用は表参照)

対象者	月額	支払方法
17歳までの子ども・青少年	1ユーロ	月払い可能
学生・割引を受ける権利を持つ人	1ユーロ	月払い可能
大人	2ユーロ	年払い 24ユーロ一括払い
クラブ・協会・様々な団体	3ユーロ	年払い 36ユーロ一括払い



日本でもボードゲームを貸し出しする図書館があります。東京の江戸川区立西葛西図書館・東部図書館・東葛西図書館、熊本県大津町立おおづ図書館などです。図書館という公共施設でボードゲームを楽しめて借りることもできる、そんな時代が日本でも活発に行われるようになるといいですね。

カルカソヌ世界大会

2023年10月7日エッセンシェビール3日目にドイツ・エッセン市のお隣ヘルネ市で開催されました。イギリス代表のMatt Tucker氏が優勝しました。日本からは道下魁氏が出場し果敢に戦ってくれました。その様子をYouTubeでlive配信することに初チャレンジをしたメビウスゲームズです。プレイ卓にスタンドを設置して動画を撮影 (配信であったり、記録であったり) することは今のカルカソヌ世界大会では主流となっています。残念ながら道下氏の予選通過とはなりませんでしたが、しかしとても貴重な経験ができた、世界大会を楽しんできた様子です。望月隆史氏・藤本巖郎氏に続く日本人の世界チャンピオン登場に大いに期待しているメビウスゲームズです。



ニムト 30周年記念版

👤 1-10人 🕒 45分 🧑 8歳〜 💰 2,800円 📅 2024年1月発売

デザイナー：Wolfgang Kramer メーカー：Amigo

ドイツを代表する名作カードゲームの30周年記念版。
ルールはシンプル。プレイヤー間の読み合いがある一方で、運の要素もしっかりとある手軽で、30年もの間愛され続けているロングセラーゲーム。
また、ニムト25周年の際に、「世界最高のニムトスペシャルカード」と題して、世界中のニムトファンから募集したアイデアのうち、優秀だった4作『偶数/奇数』、『山登り』、『跳ね牛』、『桁交換』を「スペシャルファンカード」として、収録しております。さらに、新たに協力プレイが可能な「バッファローを倒せ」が登場します。スペシャルカードカードを巧みに使って、バッファローに打ち勝ちましょう！



ハウス・オブ・キャッツ

👤 1-6人 🕒 15分 🧑 10歳〜 💰 3,850円

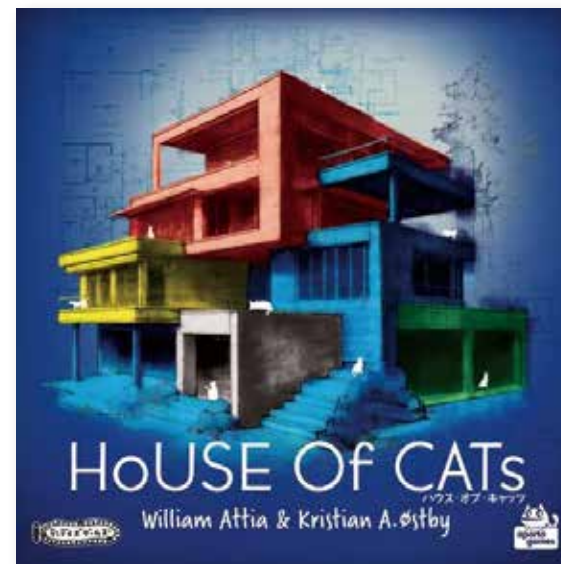
デザイナー：William Attia & Kristian A. Østby メーカー：テンデイズゲームズ / Aporta Games

サイコロを振って出た目をシートに書き入れ、高得点獲得を目指す「ロール&ライト」ジャンルの一作です。

基本的には同じ数字を出るだけ集める、繋げるように書き入れることが出来れば、得点に繋がります。しかし、特殊な「ネコ」、「ネズミ」の目には注意しなければなりません。これらの目を活用出来るか否かが、さらなる得点のカギとなるのです。

このルールをベースにして、4種類のゲームが楽しめるようになっています。レベル1から4まで用意され、レベルが異なれば得点方法やネコとネズミの効果も変わってきます。レベルが高くなるほどに、よりゲーム好きの心をくすぐるように、その歯ごたえも増していきます。加えて、ゲームごとにランダムで選ばれる特殊効果の使いどころもポイントです。

パズル的に数字を書き入れていく楽しさをうまく掘り下げた「これぞ、ロール&ライト!」と言えるような面白さを持ったタイトルです。



ふらり カフェ日和

ドイツ・エッセン市



エッセン中央駅から地下鉄で一駅、ベルリナー
プラッツ駅から徒歩7分にあるWhite Rabbit
Community Game Storeは、2019年にオープン
した比較的新しいお店。

通りに面した大きなガラス窓から覗くと、年間
大賞受賞作や定番作はもちろんのこと、ゲーマー
向け重量級や(ドイツのゲームショップやホビー
ショップでは実はあまり見かけない)ヨーロッパ
圏外のタイトルが並べられた棚が見え、そのライ
ンアップの充実ぶりが伝わってきます。

縦長の店内に入り、お会計スペースとミニチュア
ゲームコーナーの前を抜けると、奥はプレイス
ペース。カレンダーを見ると、イベントも数多く開催し
ているようです。

Spiel Essenの会場で行列になっていたような
「超」の付く最新作も取り揃えられており、エッ
センを訪れたなら、ぜひ、立ち寄りたいゲームショッ
プです。



White Rabbit - Community Game Store

営業時間：月～金 13:00～21:30 / 土 13:00～18:00 / 日曜休み

アクセス：Segerothstraße 79
45141 Essen

whiterabbit-cgs.de

@whiterabbitgamestore
@WhiteRabbitCommunityGameStore

まつながのふりがえりコラム

こんにちは、まつながです。

エッセンシュピール、私も行きたかった～!

コロナ禍で多くの人が海外旅行を控えた2020～2022年の3年間。

2023年は制約が取っ払われ、

2019年の来場者数に迫る大盛りあがりのシュピールになったようです!

デュッセルドルフへの直行便は廃止されたままですが、
飛行機を乗り継いだり、少し遠いフランクフルトから電車に乗ったり、
(みんなが今年通った経路は「みんなの旅の費用」コーナーで!)

先駆者たちの情報がとても頼りになります。

笑顔で帰国したみなさんのお土産話を聞いていると、
次こそは絶対にシュピールに行くぞ!という気持ちになりますね。

2024年は円高になるといいな、とちょっと期待しつつ、
春に飛行機やホテルの予約をしていきましょう。

2024年は、どんな年にしたいですか?

ボードゲームをどんどん遊ぶ年にするのもよし、
新しいボードゲームイベントに参加するのもよし、
初めてボードゲーム制作にチャレンジするのもいいですね!

2024年のメビテン! も楽しみに!

page10

まつなが(松永 彩)

ボードゲーム専門の
総合情報サイト、
ボードゲームの管理人。
最近ボドゲ特化クラフンの
ボドファンをリリースしました。
bodge.hobby.net



編集後記

数年ぶりに慌ただしい年末年始。行きたいイベントもかぶりまくり……。
と言いつつ、日常に戻ってきたと嬉しく思ったりもしています。

mebiten.jp

✉ mebitengames@gmail.com ✉ @mebitengames

「メビテン!」を置いていただけるお店を募集しています。

編集: メビウスゲームズ、テンデイズゲームズ、長塚美奈子
本書の無断転載・複写ご遠慮ください。